



令和元年度

国立国会図書館

研修事業

## ■ 集合研修

## ■ 講師派遣型研修

## ■ 遠隔研修

国立国会図書館では、図書館員の方を対象に、当館の所蔵する特徴的な資料や、当館の図書館業務において蓄積された知識・技術をもとに、さまざまな研修を実施しています。

当館内で開催する集合研修、各種図書館等が主催する研修に当館職員を講師として派遣する講師派遣型研修、インターネットでご自由にご覧いただける遠隔研修の3種類があります。

当館の発行するメールマガジン『図書館協力ニュース』（月1～2回程度発行）やホームページ「図書館へのお知らせ」でも、随時研修の情報をお知らせしています。

○図書館協力ニュース

[https://www.ndl.go.jp/jp/library/library\\_news\\_toroku.html](https://www.ndl.go.jp/jp/library/library_news_toroku.html)

○図書館へのお知らせ

<https://www.ndl.go.jp/jp/library/news/index.html>

# 集合研修

数 東 西 子 他  
定員数 東京本館 関西館 国際子ども図書館 他機関

西 6月18日 レファレンス協同データベース事業担当者研修会

東 7月9日 (各1日間) 各30  
レファレンス協同データベース事業参加館の実務担当者を対象に、事例データの作成と登録方法、システムの活用方法の習得を目的とする研修です。

東 他 33 日本古典籍講習会

7月2日～5日 (4日間)  
日本の古典籍を所蔵する機関の職員で、現在古典籍を扱っている、経験年数概ね3年以内の方を対象に、書誌学の専門知識、古典籍の整理方法の修得を目的とする講習会です。  
※うち3日間は共催の国文学研究資料館（立川市）での実施です。

東 8月2日 全国書誌データ・レファレンス協同データベース

西 8月16日 (各1日間) 各30  
公共図書館、学校図書館等の職員を対象に、全国書誌データとレファレンス協同データベースについて、各事業の概要の講義と演習を行います。

東 9月5日、6日 資料保存研修

西 9月27日 (各1日間) 東26 西20  
公共図書館、大学図書館および専門図書館職員を対象に、資料保存に関する基本的な考え方と基礎技術の習得を目的とする研修です。

講義：10月8日～9日 60 障害者サービス担当職員向け講座

実習：10月10日 または11日 30 (3日間) 西  
公共図書館および大学図書館職員等を対象に、図書館における障害者サービスの基礎的な知識および技術の習得を目的とする講座です。  
共催：日本図書館協会

11月11日～12日 児童文学連続講座

(2日間) 子 80  
現在、図書館等において児童サービスに従事する方を対象に、「子どもが世界を認識する手助けをするものとしての絵本と大人の役割」をテーマとする講義を行います。

12月5日～6日 レファレンス・サービス研修—科学技術情報を中心に—

(2日間) 西 32  
公共図書館、大学図書館および専門図書館職員で、現在レファレンス業務を担当する方を対象に、科学技術分野のレファレンス・サービスの向上に資することを目的とする研修です。

12月12日～13日 アジア情報研修

(2日間) 他 20 程度  
各種図書館、調査研究機関等でアジアに関連する情報を扱う方を対象に、東南アジア諸国の政府情報の調べ方についての実習を行います。  
共催：日本貿易振興機構アジア経済研究所

1月16日～17日 レファレンス・サービス研修—人文情報を中心に—

(2日間) 東 32  
公共図書館、大学図書館および専門図書館職員で、現在レファレンス業務を担当する方を対象に、科学技術分野のレファレンス・サービスの向上に資することを目的とする研修です。

3月9日 児童サービス研究交流会

(1日間) 子 80  
現在、図書館等において児童サービスに従事する方を対象に、児童サービスに関連する事例紹介や意見交換、相互交流等を行います。

各研修の詳細、申込方法などは、順次下記ページに掲載していきます。  
<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/fy2019/index.html>

# 講師派遣型研修

数

募集件数

募集締切は平成31年4月3日です。  
締切後も派遣可能数に空きがあるものは  
ご相談を受け付けます。  
講師の旅費（交通費・宿泊費）は依頼者負担となります。

## ■派遣元■

東

東京本館

西

関西館

子

国際子ども  
図書館

## 立法調査～地方議会の活動のための調査

5

東

地方議会事務局・図書室の職員等を対象に、国立国会図書館調査及び立法考査局における立法調査サービスの経験を基に、地方議会の活動のための調査の意義、留意点、調査ツールや調査方法などを紹介します。

## 国立国会図書館を使いこなす

22

東

西

### (1) 国立国会図書館が提供するレファレンスに役立つデータベース

当館がインターネットで提供しているツールを中心に紹介します。  
レファレンス・サービス入門者向けです。

### (2) 国立国会図書館の蔵書検索と申込のポイント

NDLオンラインでの蔵書検索や、当館への複写や図書館間貸出、  
レファレンスの申込方法についてご説明します。

### (3) 国立国会図書館のレファレンス・サービス

当館のレファレンス業務についてご紹介します。

### (4) 国立国会図書館が作成した書誌データの活用方法

当館が作成した書誌データをレファレンスや目録作成に活用する方法を  
ご紹介します。

(1)～(4)のテーマから選択してください。（複数選択可）

## デジタル化資料送信サービス/ デジタルコレクションの概要

6

東

西

### (1) 図書館向けデジタル化資料送信サービスについて

当サービスの概要や参加方法について説明します。

### (2) 国立国会図書館デジタルコレクションの概要

当サービスで利用できる資料群、システムの操作方法、  
歴史的音源（れきおん）等について説明します。

(1)、(2)いずれかのみを選択することも可能です。  
ただし、(1)のみを希望された場合は、関西館から講師を派遣します。

## 国立国会図書館における 複写サービスと著作権

1

東

当館の複写サービスについて、複写サービスと著作権の関係に重点を置いて  
ご説明します。

## 国立国会図書館のオープンデータ

1

東

当館が提供しているどなたでも自由に使えるデータの概要、利用方法、  
活用事例等を紹介し、図書館での活用可能性について受講する図書館員と  
議論します。

## レファレンス協同データベースの利活用

3

西

レファレンス協同データベースの概要、参加・登録・活用方法をご紹介します。

## 障害者サービスに使える 国立国会図書館のサービス

3

西

各図書館での障害者サービスに使える当館のサービスをご紹介します。

## 国際子ども図書館の中高生向けサービス

1

子

国際子ども図書館のリニューアル後に開始した中高生向けサービスを中心にご紹  
介します。

## 法令等の調べ方

2

東

法令の調べ方を中心に、関連する国会情報の調べ方などもご紹介します。主に  
インターネット上のツールを用いる入門レベルの研修です。

## 人文分野の調べ方

1

東

人文・総記分野のレファレンスに役立つツールを、インターネットで公開され  
ているものを中心にご紹介します。

## 科学技術情報の調べ方

1

東

科学技術分野のレファレンスに回答するノウハウをご紹介します。参考図書類  
や代表的なデータベースを使いこなせるよう初歩から解説します。

## ビジネス関連分野の調べ方

2

東

西

### (1) ビジネス情報分野のレファレンス・サービス入門

これからビジネス支援を始める図書館向けに、ビジネス支援について  
ワークショップ形式で学びます。

### (2) 統計でビジネスレファレンスを調べる

経済産業分野のレファレンスに対応できるよう、統計を検索する方法を  
中心に、初歩から解説します。

(1)、(2)のテーマからどちらかを選択してください。

## 健康・医療情報の調べ方

2

西

健康・医療情報分野のレファレンスに有用な資料・検索ツールを  
ご紹介するとともに、健康・医療情報サービスについてワークショップ形式で  
学びます。

## 日本語・英語で調べるアジア諸国の情報

1

西

日本語と英語でアジア諸国の情報を調べる方法を、実習を交えてご紹介します。

## 国際子ども図書館における 児童書に関するレファレンス・サービス

2

子

国際子ども図書館のサービス概要、国際子ども図書館のレファレンスで使用す  
る当館のデータベース、国際子ども図書館のレファレンス事例をご紹介します。

## 資料保存

4

東

図書館における資料保存の考え方、図書館資料の軽微な破損に対する簡易な  
補修手当てについての研修です。  
※道具等の発送費は依頼者負担となります。

## 国立国会図書館における ウェブアクセシビリティへの取組

1

東

ウェブアクセシビリティに取り組むために必要な知識や考え方を説明し、当館  
の取組を事例紹介します。また、組織の状況に応じた取組について意見交換し  
ます。

## 図書館資料のデジタル化

1

西

当館での事例紹介を交えつつ、図書館資料のデジタル化のポイントを  
概説します。

## 図書館資料デジタル化・公開に伴う 権利処理

1

西

当館での事例紹介を交えつつ、古い資料や地域資料等をデジタル化・  
インターネット公開する際の権利処理についてのポイントを概説します。

各研修の詳細や申込方法は下記をご覧ください。  
[https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/guide/19Q301\\_03.html](https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/guide/19Q301_03.html)

数 再生時間（分）

- **議会資料の概要及び検索方法  
—国会の情報について知る—** 42  
法律案、予算案、議員の質問や答弁など、国会で取り扱われるさまざまな情報について、特徴やインターネットで調べる方法をご紹介します。  
平成30年3月作成
- **官庁資料・政府情報の概要及び検索方法** 17  
各府省が公開している白書や統計などの刊行物について、特徴やインターネットで調べる方法をご紹介します。  
平成30年3月作成
- **科学技術分野の調べ方** 60  
科学技術・医学分野のレファレンスに使用する情報源の種類と特徴、求める情報への到達方法について、事例を用いて解説します。  
平成29年1月作成
- **科学技術分野専門資料各論  
(規格、会議録)** 66  
科学技術関係資料のうち、特に規格と会議録をとりあげて、資料の概要と調べ方について解説します。  
平成29年1月作成
- **近現代政治史料の概要—書簡を中心に** 121  
政治家の自筆書簡を主な題材に、近現代政治史料の解説に必要な基礎知識を学びます。  
講師：季武嘉也氏（当館客員調査員、創価大学教授）  
平成26年9月作成
- **音楽資料概論—音楽資料とは何か** 85  
音楽情報の生成過程や、楽譜やAV資料などの利用や検索のための基礎知識を学びます。  
講師：伊藤真理氏（愛知淑徳大学教授）  
平成29年1月作成
- **図書館員のための音楽知識** 142  
音楽資料・情報に関するレファレンス・サービスを行うために必要となる、基本的な音楽用語、西洋音楽史及び日本音楽史の流れ、代表的な楽曲、楽器、編成の基礎知識を学ぶことができます。  
講師：甲田潤氏（東京音楽大学付属民族音楽研究所専任研究員）  
平成31年3月新規公開
- **児童文学基礎講座：  
児童文学とは何かというとても難しい問題** 79  
子どもが読む本でありながら、おとなによって書かれ、売り買いされ、評価されるという児童文学の特殊性と、その定義の難しさについて学びます。  
講師：川端有子氏（日本女子大学教授）  
平成30年3月作成
- **児童文学基礎講座：日本の児童文学  
—「声」の時代、「声」のわかれ** 86  
児童文学と、それを子どもに読み聞かせる「声」を軸として、日本の児童文学の歴史や現在の問題について学びます。  
講師：宮川健郎氏（武蔵野大学教授）  
平成30年3月作成
- **児童文学基礎講座：英米を中心とした  
外国の児童文学—その歴史と概要** 105  
ファンタジーやリアリズム、冒険小説などのジャンルの発展や、地域・時代・文化によるそれらの変遷の歴史などについて、著名な作品を例に学びます。  
講師：川端有子氏（日本女子大学教授）  
平成30年3月作成
- **動画で見る資料保存：簡易補修** 28  
和紙とでんぶんのりを使った、簡易な補修のしかたについて解説します。修復に関して専門的な知識や技術を持たない方が、一般的な資料に対して手当てを行う場合を想定した教材です。  
平成28年2月作成
- **Conservation of Paper Materials：Minor Repair** 28  
主に海外の方向けに、「動画で見る資料保存：簡易補修」に英語字幕を付したものです。  
平成29年3月作成
- **全国書誌データの利活用** 59  
国立国会図書館が作成している全国書誌データの特長やデータの入手方法を知り、目録や文献リストの作成に活用する方法を学びます。  
平成31年3月新規公開
- **障害者サービスに使える  
国立国会図書館のサービス** 19  
障害者サービスを実施している各種図書館に対して、当館が行っている支援・協力事業をご紹介します。  
平成28年2月作成
- **イントロダクション  
～資料デジタル化研修にあたって～** 20  
「資料デジタル化の基礎」「デジタル化資料の権利処理と利活用」に先立つイントロダクションとして、資料デジタル化に係る背景、図書館でのデジタル化の概況の理解を目指します。
- **資料デジタル化の基礎** 81  
図書館の資料デジタル化にあたって必要となる基礎知識や、実務上の注意点を学びます。デジタル化に関する業務経験・知識の少ない新任担当者が、仕様書の作製や工程管理のために必要な知識を習得することを目指しています。
- **デジタル化資料の権利処理と利活用** 63  
資料のデジタル化やデジタル化資料の提供の際に必要な著作権処理等についての基礎知識の習得を目指します。また、デジタル化資料の利活用を促進するための工夫や利活用事例についても学びます。  
いずれも平成31年3月新規公開
- **国立国会図書館デジタル  
コレクションを日本研究で活用する** 17  
国立国会図書館デジタルコレクションの特徴や、主に海外からの利用・検索方法をご紹介します。※本教材は英語字幕付きです。  
平成29年3月作成

YouTubeの国立国会図書館公式チャンネルで提供しています。  
<https://www.youtube.com/channel/UChpDnv60i1LxOszXgBSE7DA>  
 インターネット環境があればどなたでも自由にご覧いただけます。  
 各教材の詳細は、下記ページに掲載しています。  
<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/remote/index.html>